



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'93 2月号



冬期特別展
砂浜の発見
記念講演会開催

海辺の自然観察

■去る1月23日土曜日、冬期特別展「砂浜の発見」の記念行事として、横須賀市自然博物館の林公義先生をお迎えして「海辺の自然観察」と題した講演会が開催されました。

■潮の流れや海岸の地形など、地球的規模の自然条件が、浜辺や磯に暮らす魚や植物の種類や生活のしかたに大きな影響を及ぼしていること、そして、自然条件のわずかな変化が彼らを減少や絶滅に追い込んでしまうという

ことについて、たくさんのスライドや図を使って解説していただきました。

■おりからの冷たい雨にもかかわらず、会場となった博物館講堂には50名近い参加者にお越しいただきました。それぞれが神秘的な海中の世界を満喫するとともに、我々人間のちょっとしたわがままが小さな生き物達の生態系を破壊してしまう事実、あらためて考えさせられました。

太陽 第22期極大期の全貌

3月13日
～5月9日

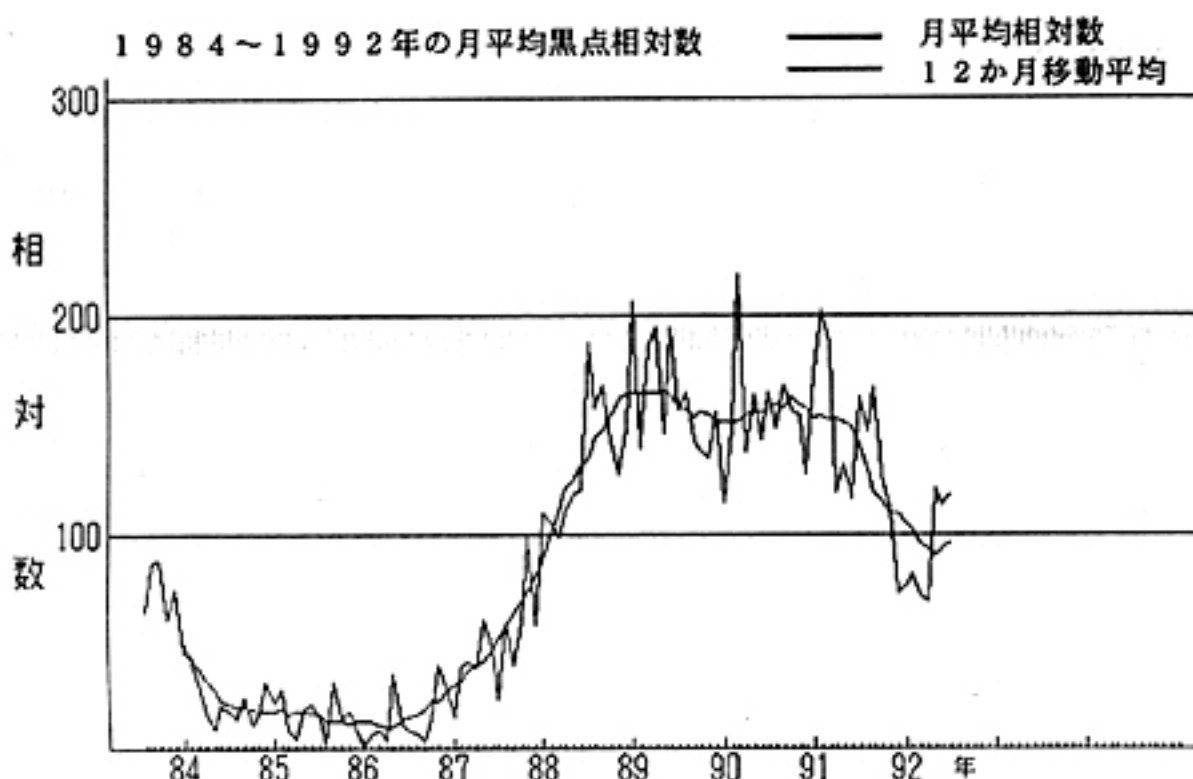
■太陽を望遠鏡で写した写真などを見ると、黒点と呼ばれるものが出てることがあります。黒点は太陽の活動を知る手がかりとなり、その活動の増減から太陽はほぼ11年周期で活動の増減を繰り返していることがわかります。

■今回の活動期は1986年から始まり、88年ごろから活動が活発化し始め、89年から91年に極大期となりました。図は、博物館で観測している84年からの太陽黒点相対数の年変化です。89年6月、90年8月、91年7月には相対数が200を超える活動のピークが観測されました。

そして太陽活動は今、第22活動期の後半に移って来たことがわかります。今回の活動期の特徴は、極大期への移行が早く、活動が始まった初期のころには、このまま増加すると稀にみる活発な太陽活動が見られるのではないかと期待もされました。また、白色光フレアと呼ばれる現象が多くの観測者によって報告されました。

■極大期が終わって振り返ってみれば、前回の活動期とそう変わらない活動ではありましたが、大きな違いは、私たち人間が太陽を調べる多様な手段を持ったことです。特に日本の太陽観測は、太陽観測衛星「ようこう」や、電波で太陽を調べる「電波ヘリオグラフ」、「ソーラーフレア望遠鏡」など目を見張るものがあります。

■3月13日から始まるプラネタリウム「太陽—第22活動期の全貌」では、博物館で観測された太陽のデータをもとに、太陽活動を解説して行く予定です。お楽しみに。



プラネタリウム利用案内

投影日： 毎週 土、日曜日

投影時刻： 1回目 11:00、2回目 14:00

観覧料： 100円

定員： 86名

★途中入場はできません。

★土曜の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券は1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

電波でみる宇宙

1月16日
～3月7日

家紋風ができたぞ！

手作りのたこを見かけることはほとんどなくなりましたが、体験学習では、伝統の「家紋風」に挑戦してみました。

(12月25・26日、参加者16人)
平塚市家紋風保存会の方々10人が講師

を引受けて下さり、たこ骨の組み方・糸目のつけ方等、ていねいに教えていただきました。2日間かけて全員が完成することができました。冬休みに上げてみた人は、何人ぐらいいるかな？

風の絵を描く

1日目

風の絵は、自分の好きなマンガのキャラクターなどを選ぶケースが多かったようです。風絵のどこかに家紋を入れ「家紋風」としました。小学校低学年の児童がほとんどでしたが、なんとかやり切れたようです。

【ミッキーマウスの出来上がり】

風骨を組み立てる

2日目

風骨を組んで、糸で結ぶのが大変。初めてのことで、保存会の人たちの指導と手伝いで進めました。やってみると細かいところが意外にむずかしい。

【ここをしっかりと結んで・・・】

完 成

2日目

家紋風保存会の人たちと参加者で記念写真。苦労して作った自慢の家紋風です。



【たこができたぞ！】



家紋風と平塚市家紋風保存会

その家に長男が生まれると風に子供の名前と家紋を入れ、節供の時期に上げたのが始まりで、明治以来のものです。

平塚市家紋風保存会は、昭和55年に発足。現在の会員は40人。毎年、5月3・4・5日に横内小学校近くの田んぼで風上げ大会を開いています。

博物館カレンダー

2月の行事予定

6	土	天体観測会（カノープス）
7	日	古代遺跡を探索会
13	土	古文書講読会
14	日	相模川の生い立ちを探索会 （秦野）
20	土	体験学習「星座早見を作ろう」 平塚の空襲と戦災を記録する会
21	日	相模川を歩く会
25	木	裏打ちの会
27	土	古文書講読会

3月の行事予定

7	日	古代遺跡を探索会
13	土	古文書講読会
25	木	裏打ちの会
27	土	天体観測会（まとめ） 古文書講読会
28	日	相模川を歩く会

2/2～2/27 寄贈品コーナー 「天文部門」
 3/2～3/30 寄贈品コーナー 「民俗部門」
 1/16～3/7 プラザリウム
 「電波でみる宇宙」
 3/13～5/9 プラザリウム「太陽」
 -第22期極大期の全貌-

■体験学習「星座早見を作ろう」

星座早見盤を作って、使い方を体験します。

開催日：2月20日（土）

時間：16:00～19:00

会場：科学教室

参加：往復ハガキに住所・氏名・電話番号
を記入のうえ、「星座早見」係まで

切：2月10日（水）

定員：30名（応募者多数の場合抽選）

参加費：200円（当日持参）

平成4年度出版物刊行予定

3月には博物館の刊行物が続々とお目見え
します。ご期待下さい。

★ガイドブック13

平塚・平野の地形

★博物館資料40

平塚市博物館所蔵地質資料目録Ⅰ 鉱物

★平塚市博物館研究報告

自然と文化第16号

★平塚市博物館活動報告

年報 第16号

★常設展示解説

相模川の自然と文化

博物館では平成5年度もいろいろな活
動を予定しています。各種事業の内容や
申し込み方法については3月号でお知ら
せ致します。ふるってご参加ください。

「あなたと博物館」

定期講読のお知らせ

平塚市博物館の情報誌「あなたと博物
館」は、ご希望の方に直接郵送していま
す。お申し込みは、住所・氏名・電話番
号・ご希望の号（平成○年○月号～平成
○年○月号）をお書き添えの上、62円
切手を必要枚数同封して博物館までお送
り下さい。

『あなたと博物館』 17巻11号 通巻197号 03000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL(0463)33-5111 FAX(0463)31-3949